

# 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立殿馬場中学校  
校長 丸井理恵

中学校区におけるめざす子ども像  
自分で考え、自分で判断し、新たなことに挑戦できる力を持った子ども

令和7年度 重点目標  
『子ども中心の授業』『子どもがつくる行事』を柱とし、あらゆる教育活動において主体性の伸長をめざす

「確かな学び」の現状  
学力プロフィールの分析結果より、知識・技能の学力はある一定高い結果を得ているが、見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けて総合的に考える力に課題があることがわかった。さらに、一昨年度より、チャレンジテストにおいては、大阪府の平均以下の結果となるなど新たな課題も出てきている。  
あらゆる教育活動において主体性の伸長をめざすとともに、学力向上を図ることが喫緊の課題である。

「豊かな心・健やかな体」の現状  
・中庭に「殿馬場の森」があり池では鯉や金魚を育て、草花もたくさん植わっており四季の花々が咲き、生徒たちも世話をしている。その環境の中で生徒たちがつながり、人間関係を深め、生徒の「豊かな心」の育成につながっている。  
・主体的に問題解決をすることが得意でないなど課題もある。特に、いじめ問題については積極的に取り組む必要がある。  
・学校は堺東という街中に位置し、茶の湯体験等、伝統文化に触れる機会が身近にあるが、自由に走り回ることができる環境が少なく、運動習慣が定着していない生徒や運動が嫌いな生徒も多い。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、授業改善を進める。	●月1回の授業改善のための教員研修を実施し、生徒の学びを深められるように授業を改善する。	「授業はよくわかる」と回答する生徒の割合が経年比で昨年以上	アンケート	年度末			
			●教員が自ら学ぶ姿勢を持ち積極的に研修に取り組む	研修に対する肯定的な意識の向上	アンケート	年度末			
	学力の向上	子どもたちが主体的に学ぶ授業の実現を図る。	●★生徒が自ら学ぶ姿勢を大切に、基礎基本の定着および思考力・学力向上を図る。	学力調査における平均正答率が経年比で昨年以上	調査結果	年度末			
			ユニバーサルデザインやICTの効果的な活用などを進め、学ぶ環境づくりを推進する。	「先生は効果的にICTを活用した授業をしている」と回答する生徒の割合が経年比で昨年以上	アンケート	年度末			
豊かな心・健やかな体	こころの教育	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する	●いじめ発見につながる生徒へのアンケートの実施および教員間で情報共有を密にし生徒理解を深め、いじめの未然防止・早期発見・早期解決を図る。	学期ごとのアンケートで「いじめはいけない」と回答する生徒の割合の向上	アンケート	毎学期			
			校内研修や道徳授業等を通じて、教員の対応力を高めるとともに生徒への啓発の強化を行う	「学校へ行くのは楽しい」と回答する生徒の割合が経年比で昨年以上	アンケート	年度末			
	自尊感情	学習や部活動などを通じて、生徒自身が成長を自覚し、自尊感情が向上する取り組みの実践	生徒が自らの将来について展望をもって進路選択が出来るようにする。	「将来の夢や希望を持っている」と回答する生徒の割合が経年比で昨年以上	アンケート	年度末			
			年間計画に基づき、計画的・継続的に道徳教育を推進する。	全学級が「未来をひらく」を20時間以上活用して授業を実施	実施状況	毎学期			
地域協働	信頼される地域協働の学校	地域の思いや保護者の思いを理解し、信頼される教職員として教育活動を推進する。	オープンスクールの実施や、学校ホームページ・学校だより等を通じて情報発信を積極的に行うことと、保護者に学校の状況を知らせる。	アンケートで「学校での様子がよくわかる」と回答する割合が経年比で昨年以上	アンケート	年度末			
			●★学校群として小学校とも連携を行いながら、地域とともに歩む学校づくりを推進する。	地域の行事への参加回数や小学校との交流回数等	実施状況	年度末			

校長より(年度末)

学校関係者評価